

報告書

<p>タイトル</p>	<p>パラマウントベッド様の森植林地 現地視察報告</p>
<p>場所</p>	<p>西ヌサ・テンガラ州 スンバワ県 ウタン郡 バトゥ・レア村 Desa Batu Rea, Kacamatan Utan, Kabupaten Sumbawa, Provinsi Nusa Tenggara Barat.</p>
<p>養殖池座標：8° 25′ 15.78″ S 117° 5′ 44.74″ E 養殖池所有者/管理者：Idfidir さん(バトゥ・レア村住民) スンバワ島コーディネーター：Walidi (弊社現地スタッフ) 植林開始時期：2022年8月16日</p>	
<p>パラマウントベッド株式会社様より受注しました、2022年度のマングローブ植林面積は20haであり、植林用地選定、現地住民との交渉・調整、植林地の確保、土地の造成を行っているところです。 本報告書では、バトゥ・レア村のパラマウントベッド株式会社様のマングローブ植林地についての説明と現在までの植林状況を報告させていただきます。</p>	
<p>インドネシア全土</p>  <p>赤枠で囲んである場所が西ヌサ・テンガラ州です。</p>	<p>西ヌサ・テンガラ州</p>  <p>西ヌサ・テンガラ州には大きく分けて、ロンボク島とスンバワ島の二つの島があります。</p>
<p>スンバワ県ウタン郡</p>  <p>スンバワ島は5つの県と2つの市から成り立っています。その中の1つにスンバワ県があり、更にスンバワ県には郡が多数あり、その1つにウタン郡があります。</p>	<p>バトゥ・レア村植林地</p>  <p>バトゥ・レア村はウタン郡に属する1つの村です。</p>

バトゥ・レア植林地



画像内の赤く塗ってある土地が現在土地造成を進めている養殖池跡地であり、黄色の四角の範囲内が、今回報告するパラマウントベッド様の森の植林地です。

パラマウントベッド様の森植林地



黄色の枠線で囲われた養殖池跡地は面積が 0.98ha (9,800 m²) あります。

4つに分けられた養殖池



養殖池が4つに分かれておりそれぞれの養殖池に植林を行っております。本エリアでは管理者が Idfidir さんのため、堤防もプロジェクトエリア内に含まれます。現在までに1番から4番池に約820本のマングローブを植林しております。面積は合計で0.98ha ございますが水産物を養殖する水路を確保するため小さい池程植林本数が限られてしまいます。

実際のプロジェクト養殖池の写真



こちらの画像はドローンを操作し上空120mから撮影しております。左の画像では造成前の植林地を Google Earth から引用しています。造成を行った後の写真と Google Earth の地図画像を見比べてご確認いただけます。

1 番池 報告

1 番池の植林を実施したのが 2022 年の 8 月 16 日になります。胎生種子の長さが 30 センチほどのフタバナヒルギというマングローブの樹種を植林しています。約 1 か月と半分程の時間が経過していますが葉を付けているマングローブが多数存在し現時点では順調に成長しております。しかしながら、今後の経過により枯死してしまうマングローブもある可能性がございます。その場合、枯死したマングローブの場所に新たに補植を行います。



1 番池の全体図



植林時の様子：Walidi さん(左)、Idfiti さん (右)



成長の早いマングローブは既に 3 対(6 枚)の葉がついています。

2 番池 報告

2 番池は 8 月 27 日に植林を行っています。こちらは胎生種子が 60 センチほどのオオバヒルギというマングローブの樹種を植林しております。オオバヒルギは種子が長いので、植林した種子が長時間日光にさらされると乾燥により種子が曲がってしまうため、種子の曲がりを防ぐ目的で添え木を使用しています。現在、1 対の双葉が就いています。



2 番池の全体図



2 番池の全体図



植林を行う際に 2 m の縦横の間隔で行っています。



植林したマングローブの種子から双葉が出ている様子。

3 番池 報告

3 番池は 8 月 22 日に植林を行っています。こちらはオオバヒルギの種子を植林しています。まだ目視で確認することは出来ず、カメラで撮影した写真を拡大したものを添付しています。



3 番池の全体図



3 番池の全体図



3番池に植林を行ったマングローブも双葉が出ています。



4番池 報告

4番池は今回の植林地の中で最も面積の小さい養殖池です。8月27日に植林を行っており、こちらはフタバナヒルギとオオバヒルギの両方の樹種を植林しています。4番池も他の養殖池同様マングローブがまだ目視で確認できるほど成長しておりませんのでカメラで撮影した写真を拡大したものを添付しております。



4番池の全体図





こちらの写真はバトゥ・レア村植林地の視察の際に撮影したものになります。矢印にて示している Walidi さん、Idfidir さんのご説明をさせていただきます。Idfidir さんはパラマウントベッド様の森の植林地を直接現場にて管理していただきます。Walidi さんは弊社社員がスンバワ島にて活動する際に島内のコーディネートをしていただいています。またシルボフィッシャリー活動が行える可能性のある放棄された養殖池跡地の確認等も行っております。

バトゥ・レア村植林地の赤塗りで示しているエリアについては、土地造成を進めているところです。赤塗りエリアの奥の方にある池は、あぜ道が狭くショベルカーが入れないため、手作業による整地を行っている池もあり、予定よりも整地作業に時間が掛かっております。整地が完了次第マングローブの植林を行う予定であり、次回の現地視察の際にも報告書により植林作業の進捗状況をご報告致します。

以上